

南すおう地域農業振興協議会（山口県柳井市、光市、田布施町）

組織の概要

- 戦略作物の生産振興や米の需給調整の推進、農地の利用集積、担い手の育成・確保など、地域農業の振興を一体的に推進するため、平成16年に設立
- 協議会の区域 柳井市、上関町、光市（大和地区）、田布施町、平生町
- 山口県の南東部に位置し、経営耕地面積約1,624haのうち水田率は約88%
- 管内は瀬戸内沿岸部と内陸部からなり、多くの農業法人は内陸部での営農を展開



生産概要

- 【作付面積】 水稻：1,081ha、小麦：123ha、大豆：130ha（R5年）
- 2年3作の輪作（稲→麦→大豆、または、大豆→麦→水稻）ブロックローテーション実施 生産者毎に選択
- 平成29年4月にはJAと管内の農業法人が共同出資して法人連合体「アグリ南すおう株式会社」を立ち上げ、農業生産資材の共同購入や機械の共同利用など生産コスト削減に取り組んでいる。現在は21法人が加入し、経営規模は管内全体の耕地面積の約 1/4 を占める規模となっている。

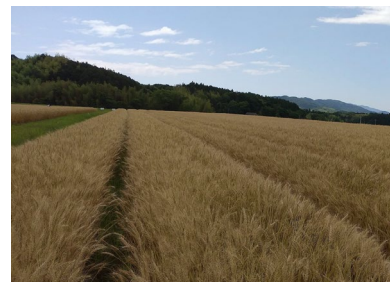
取組のポイント

<需要に応じた生産を徹底>

- 法人連合体「アグリ南すおう株式会社」を起点として、実需者の要望に沿った小麦品種「にしのやわら」への転換を推進
- 実需者が求める高品質な麦を安定的に供給するため品質分析を行い、その結果を基に栽培暦の施肥体系（開花期追肥）の見直しを実施

<団地化への取組>

- 地図情報システムなどを活用し、生産者と関係機関で協議し、団地化を推進



取組成果

<団地化の推進>

- 地図情報システムなどの活用及び地域での話し合いにより団地化面積及び団地化率を向上
団地化面積：44.7ha（R4）→ 49.5ha（R5）→ 目標68.6ha（R8）
団地化率：38.2%（R4）→ 40.3%（R5）→ 目標47.3%（R8）

<栽培面積の拡大>

- 実需者の要望に沿った品種の作付推進により、需要に応じた麦生産面積を拡大
作付面積：117.2ha（R4）
→ 123ha（R5）
→ 目標145ha（R8）
うち「にしのやわら」：20.1ha（R4）
→ 94.6ha（R5）
→ 目標145ha（R8）

小麦の作付面積と団地化率の推移

